

第七十四回
帝國議會
貴族院

郵便年金法中改正法律案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十四年二月二十一日(火曜日)午後一時三十九分開會

○委員長(侯爵淺野長之) 是カラ開會致シマス、昨日ニ續イテ質疑ヲ繼續致シマス

○男爵長基連君 昨日郵便年金ノ收支ノ狀況ト、ソレカラ準備金ノ關係トニ付キマシテ御質問申上ゲマシタノデアリマスガ、此

ノ點ハ私ノ専門ノ知識ノ無イ爲、竝ニ研究ノ足ラナイ爲ニ多少分ラナイ點ガアリマス

ケレドモ、是ハ再ビ御尋ネシナイコトニ致シマス、次ハ此ノ郵便年金ガ最近ノ狀況ニ

於テ新契約ガ多少振ハナイヤウニ見エルノデアリマスガ、是ハ如何ナル原因ニ依ルノ

デアリマスルカ、其ノ點ノ御説明ヲ一應願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(藤川靖君) 只今長男爵カラ御尋ニナリマシタ最近新契約ガ比較的振ハナ

イヤウダガト云フ御話デアリマスルガ、昨日チヨット申上ゲマシタ通り、年金ノ豫定利

率ヲ變更致シマス場合ニハ一箇月位前カラ豫告ヲ致シマスノデ、其ノ關係デ豫定利率

ノ變更ニナリマス年ハ相當増加致スノデアリマスガ、サウ云フ點ヲ考ヘテ見マスルト、

大體年々新規契約數ニハ大シタ變動ハナイ

ヤウニ考ヘラレルノデアリマス、唯最近比較的增加シナイデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、近年豫定利率ガ低金利ノ關係上

引下ゲラレマシテ、掛金ガ多少増加致シマスヤウナ關係モアラウカト考ヘテ居ル次第

デゴザイマス

○男爵長基連君 保險ノ方デハ此ノ新規契約ト云フモノガ年々非常ナ勢ヲ以テ増加シ

テ居リマス、然ルニ此ノ郵便年金ノ方ハ、此ノ郵便年金事業ノ現況ト云フ中ニモアル

通り、昭和二年度ニ於テハ新契約ノ數ガ金額ニ於テ一千六百十何萬圓ニナッデ居リマ

ス、ソレガ此處デ三年度カラ非常ニ減少シマシテ、ソレカラ段々少シジ、上ッデ十年度

ニ於テ又少シ下ッデ、ソレカラ十一年度ニ多少殖エマシタガ、十二年度、十三年度デ又

減ッテ居リマス、保險ノ場合ハ斯ウ云フ風ニ減ルト云フコトハ殆ドナイノデ、非常ナ勢

ヲ以テ増加シテ居リマスガ、郵便年金ノ方ダケハ其ノ増加率ガ少イノミナラズ最近減ッ

テ居ルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、餘程政府ニ於テハ此ノ點ヲ注目サレ

テ、宣傳或ハ獎勵等ヲ十分ニナサレムコトヲ希望シテ置キマス、ソレカラ是ハモウ少

シ能ク研究スレバ分ル話デアリマスケレドモ、此ノ度改正ニナリマス條項ハ何條ノドウ云フ所デアリマスカ、又現行法中ニ廢止

ニナル條項ガアレバ、ソレハドウ云フ條項デアリマスカ、其ノ點ヲ御尋ネ致シマス

○政府委員(藤川靖君) 現行法ト改正法案トノ比較ハ、御手許ニ差上ゲテゴザイマス新

舊對照ヲ御覽ニナリマスルト、條文ノ關係ハ御分リニナルカト存ズルノデアリマスル

ガ、條文ノ内容ニ改正ヲ加ヘマスル爲ニ變更セラレマスルモノト、條文ノ配列ヲ變更

致シマシタ爲ニ條文ノ位置ガ變リマシタモノトアル譯デゴザイマス

○男爵長基連君 其ノ配列ノ關係カラ變更ニナッタ分デナクテ内容ヲ變更サレタ條項

ト云フモノハ、ドノ條項デアリマスカ

○政府委員(進藤誠一君) ソレデハ私カラ簡單ニ申上ゲマス、此ノ條文ノ二條ノ改正

條文ト云フ中ニ二項ガ附イテ居リマス、裏ノ二頁ニ互ツタ所ニ年金契約……ソレガ今

度ノ改正デゴザイマシテ、此ノ點ガ保證期間附年金ノ規定デゴザイマス、ソレカラ六

條モソレニ關聯シタ保證期間附年金ノ條文デゴザイマス、ソレカラ實質的ニ變ッデ居

ル點ダケヲ申上ゲマス、十條ノ新シイ方ノ下ノ方ガ變ッテ居リマスガ、是ハ大キナ改正

デハアリマセスデ、唯法律的ノ改正デアリマス、ソレカラ十三條ノ規定ガ隨時拂、詰

リ今度設ケマシタ隨時拂ノモノデ、ソレカラ十四條ノ改正デアリマスガ、是ハ法律的

改正ダケデ、制度トシテノ改正ハ大シタモノデハアリマセス、ソレカラ十七條ガ今度

矢張り改正ノ三ツノ主ナ點デ戰爭、事變ニ依リ戰死シタ者ニ對スル特別ノ返還ノ條

文、ソレガ十七條、ソレカラアトハ十九條ノ一部變更、一部變ヘマシタ、ソレカラ二

十條ハ今度新タニ設ケマシタ、ソレダケデアリマス、ソレカラ最後ノ附則ノ所ニ行ッテ

附則ノ二項目ニ特別返還金ノ受取人ガ昭和十三年七月七日以後ニ死亡シタ場合ニハ

週及シテ適用スル、是ハ戰死者ニ對スル場合デアリマス、大體ソレダケデアリマス、

アトハ一部變リマシタトカ、一ツノ條文ヲ二ツニ分ケタトカ云フヤウナ法律ノ技術的

ノ改正ニ過ギマセス

○男爵長基連君 昨日私質問シタ中ニ申上

ゲマシタ通り年金ノ目的トスル所ハ保險ト違フト云フコトハ、政府委員ノ方デモ御認

メニナツタヤウニ思ヒマス、ソコデ私ハ成ルベク此ノ趣旨ニ副フ方向ニ此ノ年金制度ガ發達スレバ宜イト云フ考ノ者デアリマスガ、就テハ掛金ト云フコトガ非常ニ問題ニナリマシテ、成ルベク少イ掛金ヲサセルヤウニスレバ從ツテ其ノ利用者モ殖エルト、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、茲ニ一ツノ例トシテチヨット伺ッテ置キタイト思ヒマスノハ、十二歳カラ掛ケ始ツテ、一時拂トシテ据置年金ノ場合ニ元金ヲ抛棄スルコトニシタナラバ、其ノ掛金ハドレダケデアリマスカ

○政府委員(藤川靖君) 据置一時拂ノ場合デアリマシテ、男子ト致シマスト加入年齢十二歳デ五十歳ニ支拂ヒマスルト、元金留保ノ場合ノ掛金ハ三百五十八圓五十八錢デアリマス、元金抛棄デアリマスルト二百七十四圓六十錢デアリマシテ、元金抛棄ハ元金留保ノ八割七分ト云フ割合ニ相當致シマス、尙申落シマシタガ、只今ノ八年金額百圓ヲ貰フモノト致シマシテノ計算デアリマス

○男爵長基連君 只今伺ヒマス、相當多額ノ金ガナイト此ノ年金ニ入レナイト云フコトニナリマスガ、尤モ分割拂ニスレバマダソレヨリ安クナリマスノデゴザイマスケレドモ、一時拂デヤツテ而モ安イト云フコト

ハ最モ望マシイコトデヤナイカト考ヘマス、其ノ點ヲ能ク一ツ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ次ハ今度改正ニナリマシタ點ノコトデアリマスガ、此ノ特別返還金ノ問題デアリマス、之ニ依リマス、返還金ヲ付シタル契約ノ場合、年金受取人ノ爲ニ積立テタル金額ノ中ヨリ普通死亡ノ場合ニ於ケル返還金ヲ控除シタル殘額ノ九割トスルト云フコトガアリマス、是ハ事變ニ際シテ戰闘又ハ戰闘ニ準ズベキ公務ニ依ッテ死亡シタト云フ場合ノ特別返還金デアリマスガ、斯ウ云フ方々ハ非常ニ優遇シナケレバナラスコトハ申ス迄モナイノデアリマスカラ、此ノ殘額ノ九割ト云フコトデナク、殘額ノ全部ト云フコトニナラナイノデアリマスカ、又返還金ヲ付セザル契約ニ於テハ、年金受取ノ爲ニ積立テタル金額ノ八割トスルコトト云フコトニナッデ居リマスガ、是モ少シ割合ヲ良ク出來ナイノデアリマスカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(藤川靖君) 只今ノ御話ハ誠ニ御尤ノ事デアリマシテ、私ノ方デモ特別返還金ハ出來ルダケ澤山返スト云フ方針ヲ以テ考ヘタノデゴザイマスルガ、九割ト申シマスルノハ積立金總額ノ内カラ掛金ニ相當致シマス分ハ全部返還致シマシテ、唯利息

ニ相當スル差額ダケノ九割デアリマスカラシテ積立金全體カラ見マスルト九割七八分位ニ相當致シマスノデ、極ク二分カ三分ダケハ取扱手數ノ爲ニ査定致シタヤウナ譯デアリマス、ソレカラ元金抛棄ニ對シテハ八割ニ減ラスノハ少シ減ラシ過ぎナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、是ハ保險數理ノ計算ノ上デ元金抛棄デアリマスルト、其ノ人ノ爲ニ積ンデ居リマス金ノ中ニハ、他ノ早く死ンデシマッタ人ノ金ガ流レテ入ッテ居ル計算ニナルノデアリマス、同ジ元金抛棄ノ種類ニ入ッテ、早く死ンデシマッタ人ノ分ガ棄權サレマシテ、ソレガ生殘ッテ居ル人ノ方ノ金ニ流レテ居リマスコトニナリマスノデ、其ノ分ハ削除致ス方ガ適當ト考ヘマシタノデ結局九割八分トナッテ居ルノデアリマスカラ、大變違フヤウデアリマスケレドモ實質的ニハ大差ナイ數字ニナル譯デゴザイマス

○犬塚勝太郎君 速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(侯爵淺野長之君) 速記中止

午後一時五十六分速記中止

午後二時四十一分速記開始

○委員長(侯爵淺野長之君) 速記ヲ開始、他ニ御質疑ハゴザイマセスカ……ナイト認メマスル、デ是カラ討論ニ入りマス

○河原田稼吉君 私カラ簡單ニ贊成ノ趣旨ヲ申上ゲタイト思ヒマス、今回ノ改正案ノ主要ナル點ハ保證期間附年金制度ノ創設ト、戰時、事變ニ際シテ死亡シタル年金契約者ノ遺族ニ對スル特別ノ恩典ト此ノ二ツノヤウニ了承シタノデアリマスガ、是ハ誠ニ機宜ニ適シタル改正ト存ジマシテ私ハ贊成ヲシタイト思ヒマス、唯私ハ、申ス迄モナク郵便年金制度ハ國家ノ施行致シマスル社會政策的施設デアリマスノデ、殊ニ中産以下ノ人々ニ對スル福祉ヲ尙増進スル上ニ於テ、御當局ニ於テ一層適當ナル御工夫ヲ益、御加ヘ下サラムコトヲ希望スルノデアリマス、ソレカラ猶戰時、事變ノ際ニ於ケル年金受取者ノ遺族ニ對スル措置ハ是亦此ノ際ニ於テ誠ニ適當ナル改正ト考ヘマスガ、是ハ拜見シマス云フト、勅令ニ於テ適當ニ御規定ガ出來ル規定ノヤウデアリマシテ、又其ノ財源モ承リマス云フト、特別積立金ノ方カラ出マスヤウデアリマスシ、又其ノ受益者ノ數モサウ多クモナイヤウニ思フノデアリマスカラ、ドウゾ一ツ出來ルダケ財政ノ許ス限り、出來ルダケ多額ノ御支出ガ出來ルヤウニ一ツ勅令御制定ノ際ニ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ原案ニ贊成デアリマス

○男爵長基連君 改正案ノ中デ特別返還金其ノ他軍人ノ遺族ニ對スル優遇方法ヲ講ゼラレタコトニ付キマシテハ、私トシテハ至

極贊成スル者デアリマス、唯過日質問ノ際ニモ申上ゲタ通り、保險ノ制度ト年金ノ制度ト云フモノハソコニ明カナル區別ガアリマシテ、一方ハ遺族ノ生活ノ安定ト云フコ

トヲ目的トシ、他ノ方ハ老後ノ生活安定ト云フコトヲ目的トシテ居ル、明瞭ニ區別ガアルノデアリマスカラ、此ノ點ニ關シテハ

今度ノ御改正即チ保證期間ヲ設クルト云フ精神ハ、保險ノ制度ニ段々似通ッテ來ルト云フ感じガアリマシテ、私ノ根本ノ議論トシ

テハ多少遺憾ニ考ヘマスガ、其ノ運用ニ於テ單ニ總體ノ金額ノ増加ト云フコトダケヲ御考ニナラズニ、此ノ年金ノ種類ノ中デモ

尤モ此ノ年金ニ相當スル種類ノモノガゴザイマスカラ、此ノ種類ノモノヲ成ルベク多ク増加スルト云フコトニ努力セラレンコトヲ希望スル者デアリマス、尙又掛金ノ率モ

出來ルダケ低下サレンコトニ御努力アランコトヲ希望致シマシテ、此改正案ニ贊成スル者デアリマス

○委員長(侯爵淺野長之君) 他ニ御意見ハ

ゴザイマセヌカ……ナイト認メマス、是カラ採決ヲ致シマス、政府提出ノ此ノ法案全

部ヲ議題ニ致シマシテ、御異議ガナケレバ採決致シマス、御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵淺野長之君) ソレデハ原案ノ通りニ可決致シマシタ、是デ此ノ委員會ハ散會致シマス

午後二時四十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵淺野 長之君

副委員長 風間八左衛門君

委員

犬塚勝太郎君

河原田稼吉君

男爵長 基連君

男爵佐藤達次郎君

稻畑勝太郎君

國務大臣

厚生大臣 廣瀨 久忠君

政府委員

遞信省管理局長 山田 良秀君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院簡易保險局長 藤川 靖君

昭和十四年二月二十一日印刷

昭和十四年二月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局